

## 電子投稿審査システム J-STAGE 2 から 3 へのバージョンアップに際して

編集委員会 担当理事 川平 和美  
委員長 長岡 正範

学会誌 Jpn J Rehabil Med では、平成 22 年 11 月 15 日から電子投稿審査システムの運用を始めています。現在利用している電子投稿審査システムは、独立行政法人・科学技術振興機構（JST）が運営するもので J-STAGE 2 と呼ばれています。導入当初から J-STAGE 2 のシステムの柔軟性の不足のために、使いにくい部分があることが指摘されておりましたが、この度、J-STAGE 3 へのバージョンアップが行われることになりました。J-STAGE 3 では、すでに定評のある Editorial Manager<sup>®</sup> を利用することになります。種々のカスタマイズが各学会単位で可能になり、使いやすさの面で大きな改善が期待できます。本編集委員会では、早速、J-STAGE 3 への移行を検討しており、本年 8 月末の J-STAGE 3 の本運用開始に向け、事務局ならびに編集委員会での準備を行っております。

今後、リハニュースならびに Jpn J Rehabil Med へのアナウンスメントを通じて、学会員への周知を図りたいと考えています。

電子投稿審査システムのメリットとして、

- 編集作業の効率化、掲載までの時間短縮
- 投稿・審査・判定などの各種プロセスを WEB 上で一元管理できる
- 地域格差の是正
- 投稿者の利便性を増し、会員サービスを向上させる
- J-STAGE 3 では英語での投稿が可能になり、外国からの投稿のチャンスが高まると予想される

などが挙げられます。

一方、電子システムに慣れていない会員には不便である点については、これまで通り郵便での投稿受付も並行して行っており、電子化に不慣れな会員にとって不都合のない形で運用していく方針です。